日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 長浜赤十字病院
人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

地域医療連携だより

Vol.270
2025 年 12 月号

長浜赤十字病院　　地域医療連携課
〒526－8585　滋賀県長浜市宮前町14－7
TEL　0749－68－3314
FAX　0749－68－3315

地域医療支援病院・救命救急センター
地域周産期母子医療センター
災害拠点病院・災害拠点精神科病院
滋賀県地域がん診療連携支援病院
滋賀県基幹原子力災害拠点病院

澄んだ空気の夜空に冬の星座が美しい季節となりました。
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第 19 回 長浜赤十字病院 地域医療意見交換会
～ 地域とともに築く、安心の医療ネットワーク ～

副院長・外科部長
塩見　尚礼

令和７年 11 月 15 日、北ビワコホテル グラツィエにて「第 19 回長浜赤十字病院地域医療意見交換会」を開催しました。湖北医師会、湖北歯科医師会、近隣病院関係者など、合計 31 名の皆様にご参加いただき、地域医療の連携強化に向けた有意義な場となりました。

第一部では、近年注目される「人生 100 年時代を生きる」をテーマにシンポジウムを開催。高齢化が進む中での医療・介護のあり方や、地域包括ケアの重要性について活発な議論が交わされ、今後の地域医療の方向性を考える上で多くの示唆を得ることができました。

続く第二部の意見交換会では、食事を共にしながら率直な意見を交わし、和やかな雰囲気の中で顔の見える関係づくりに大きく貢献できました。湖北圏域では医療提供体制の再編が議論される中、地域の患者さんにより良い医療を届けるためには、こうした草の根の交流が不可欠です。

ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後も長浜赤十字病院は、赤十字精神を基盤に地域とともに連携を深め、高度急性期医療を中心とした安心・安全な体制づくりに努めてまいりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

患者紹介 WEB 予約システムを導入しました

～ よりスムーズな紹介・予約手続きを目指して ～

当院ではこのたび、地域の先生方からの紹介患者さんの予約をより円滑に行っていただけるように、「患者紹介予約システム」を導入しました。

これまでの電話・FAX による申込みに加え、パソコンやタブレットから、診療科や検査の空き状況をリアルタイムに確認しながら予約をお取りいただけます。予約確定までの時間短縮や転記ミスの防止にもつながります。

従来通り FAX での予約もご利用いただけますが、WEB 予約をご活用いただくことで、よりスムーズな紹介対応が可能になります。

地域の先生方にとっても、患者さんにとっても利便性の高い連携体制を目指し、今後も改善を重ねてまいります。是非、アカウント登録をしていただき、ご活用いただきますようよろしくお願いいたします。

medigle 予約

原子力災害訓練を実施しました

診療放射線技師　川﨑 新

令和 7 年度滋賀県原子力防災訓練が 11 月 15 日に長浜市にておこなわれ、基幹原子力災害拠点病院に指定されている当院では、避難者や傷病者の受入れ訓練をおこないました。受入れにあたり、高度除染室・原子力災害対策施設の養生およびゾーニング、スタッフの役割分担の確認、またタイベックスーツやビニールエプロンなど役割に応じ着用し、迅速に受入体制を整えました。

原子力災害対策施設での避難者受入れは、ゲートモニター、GM サーベイメータを用いて汚染サーベイをし、汚染部位が確認されれば、拭き取りによる除染を行いました。傷病者を受け入れた高度除染室では、リーダー医師の指示のもと、処置にあたる医師、看護師と汚染サーベイをおこなう放射線技師がホットゾーンに入り、処置がおこなわれました。

私は高度除染室にて傷病者の受入れを担当しホットゾーンに入り、GM サーベイメータを用いて汚染サーベイと医療スタッフの被ばく管理を主におこないました。傷病者がホットゾーンに移されるとバイタルチェックが行えるように胸部・腕の汚染サーベイを行い、処置が開始されます。処置中には創傷部・開口部（顔面）・全身のサーベイを実施し、創部の除染が行われる度にサーベイを行い、除染状況の確認作業。除染の際に使用した洗浄水が飛び散って汚染拡大していないかを継続的おこなっていきました。

今回の訓練では、創部に洗浄水が拭き取られていない状態でサーベイを行ったり、背部をサーベイする際に搬送時に使用された敷物がある状態で行ったなど、指摘を受ける部分がありました。また、タイベックスーツを着用しての診療であるため季節によっては体力的なことを考慮して、スタッフが交代するなど工夫が必要になると感じました。今後は院内訓練や研修会に積極的に参加して技術を身につけ、災害時には対応できるよう努めて参ります。

2025 ながはま健康フェスティバル

研修医　清水 俊克

2025 ながはま健康フェスティバルに研修医も参加させていただきました！

長浜赤十字病院としてはドクターカー・救急車の展示、腰膝痛のお悩み相談、救急救命処置コーナーの３つの出展をしました。研修医は救命救急処置コーナーを担当し、来場者の方に BLS や窒息対応、AED などを経験していただきました。たくさんの方が来て下さり、3 歳のお子さんも真剣に取り組んでいる様子が印象的でした。

研修医は普段から院内の看護師をはじめとした他職種の方に向けた ICLS のインストラクターをしています。また、院内だけでなく診療所職員向けの出前講座も行っております。胸骨圧迫のやり方だけでなく、医療チームとしてどういう風に声かけをしていけば良いか、急変時の院内の動きや救急隊の接触方法、伝達事項などの具体的な動線も含めて指導しています。急変時の第一発見者が初期対応を知っているのと知らないのとでは大きな差があります。

一度習ったことがある方も今一度アップデートしてみてはいかがでしょうか。出前講座はいつでも受け付けておりますので、お気軽に地域連携室までお声かけください。

― 年末年始休診のお知らせ ―

年末年始休診日 ： 12/27(土) ～ 1/4(日)

※ 緊急時は、救命救急センターへご紹介ください。　TEL：63-2111（代）
FAX：62-6134（救命救急センター受付）

※ なお、FAX による 1/5（月）以降の診察・検査依頼は可能ですが、返信は **1/5（月）以降**となります。

ICLS コース開催のご案内
（ICLS：日本救急医学会が認定する医療従事者向け蘇生トレーニング）

2026 年 1 月 17 日（土）長浜赤十字病院で開催します。

参加ご希望の方は、ＱＲコードからお申し込み下さい。
（申し込みの締め切りは 12/10（水）12 時とさせていただきます。
人数制限がありますので、先着順で早く締め切らせていただく場合もありますので、ご了承ください。）

※詳細については、地域医療連携課　赤尾まで

お知らせ

『 診療依頼書 』の様式を変更しました

診療依頼書（診療情報提供書）の様式を一部変更しました。
2 枚目の中ほどに「既往歴及び家族歴」の欄を追加しておりますので、適宜ご記入ください。
今後は同封いたしました新しいものをお使いいただき、現在使用中の残っているものは破棄していただきますよう、お願いいたします。

当院の 2026 年のカレンダーをお届けいたします。

お手元にてご活用いただきましたら幸甚に存じます。